

南富良野短歌会

凍て空に鎌月くつきり一つ星着かず離れず光り放てり
 津田 みね
 若き日に勤めし駅も無人なり思ひ出のみがホームに残れり
 橋見 さえ子
 惜しめども菊のかほりも遠のきて一夜の霜に移り行くもの
 三宅 スエ
 橋梁を包むがごとく紅葉は溪谷深き清流に映えて
 松本 清
 山峡の駅に佇み列車待つ枯葉散る音耳に残りて
 山内 千代
 追いかけて届く便りに孫達の暮らし偲ばる十三夜の月
 後藤 敏江
 空の藍を水面に写ししづかなり木の葉を浮かす里の湖
 鈴木 文代
 移り来てはや半世紀四方の山日毎に見慣れわが庭のごと
 佐藤 すみえ
 物忘れ多きこの頃しかしなほ消し得ぬ過去のあるは愛しも
 阿部 巖
 雨上がり紅あじさいに玉の露色冴えざえとしばし佇む
 鍛冶場 渉子
 玄関の戸を少しあけもつ一度笑顔でばいばい言ひぬひい孫
 大野 孝子
 車庫を空け出かけて帰れば一面に落葉からから闇夜に遊ぶ
 山田 千代
 楽しみに育てし豆もこの秋は鹿の足跡のみが無残に
 鈴木 セツ子
 横臥する父息ひきとりて晩秋の夜空に星の一つ落ちゆく
 相川 敏治
 夕光に大根洗う母の背をこの秋もまた紅葉散り交う
 菊池 仁子
 紅葉の燃えて散りゆく神無月大豆落として安らぐ一日
 小林 吉枝
 コスモスにトンボとまりて首傾げ化粧したのか身体が赤い
 大居 貞子

シリーズ 学校だより ③⑥

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶ 幾寅小学校 ▶▶▶

挨拶運動展開中

幾寅小学校では、児童会が中心となって挨拶運動を展開しています。

どんな人とも気持ち良く笑顔で挨拶できる幾寅小学校の児童になろうと、児童会役員の発案で取り組んでいます。

中央廊下をふれあい通りと名付け、そこでは、すれ違う人がお互い笑顔で挨拶する事になっており、毎日元気な挨拶の音が響いています。

12月に入ってからは、マスコットのあいちゃんも登場し、一段と熱が入っています。

今では学校のあちこちで、元気に挨拶する声が聞こえます。道端でも街の人に元気に挨拶できればと思っています。



△マスコットのあいちゃんと児童会役員



△9メートルの海苔巻き

9メートルの海苔巻きに挑戦

11月26日、6年生がPTA行事で、9メートルの海苔巻き作りに挑戦しました。

海苔巻き作りが決まると学年委員のお母さん達を中心に、情報を収集したり、実際に試作してみたりと念入りに準備しました。

前日より仕込みを開始し、当日は説明の後、6年生と集まったお父さんやお母さん達で心を合わせ取り組みました。途中具を入れすぎて厚くなったり、曲がったりしましたが、その都度慎重に手直しをして、時間をかけて巻き上げました。

きつと南富良野町で一番長い記録の海苔巻きではないでしょうか。6年生には忘れぬ思い出になったことでしょう。